

# 確かな学力を支える「学びに向かう力」の育成

～読解力の向上を基盤とした学習指導を通して～

平成29年度 大津町小中学校共通実践事項

- (1)話し手に体を向けて聞く (2)「めあて」と「まとめ」の明示  
(3)家庭学習の習慣化 (4)県学力調査に向けた課題克服プリントの計画的活用

2月12日(火)  
米多

## めあてについて

先日の校内研のテーマの一つにありました、「めあて」について国語を例に学んだことをお伝えしたいと思います。以下、参考文献からの引用です。

よくある従来のめあて・・・

「大造じいさんの三場面の気持ちを考えよう」・・・**What 型のめあて**

めあてが抽象的な内容になると、学習者には「どのように」考えればいいのか分かりにくい。

「大造じいさんの心情変化を心情曲線に表そう」・・・**How 型のめあて**

学習者の解釈が拡散して、それを整理できないことがある。

「なぜ、大造じいさんは、銃を下したのか？」・・・**Why 型のめあて**

学習者自身で解決できるものではない。読者の想像だけになってしまう。国語が苦手な学習者の参加が難しい。

めあては、学習者の問題意識を引き出したうえで設定されるべき。めあての設定によって、学習者が「考えたくなる」「動き出したいくなる」ことが重要になる。めあての提示は導入の冒頭だけに限らない。学習者の反応に応じて柔軟に考えるべき。

## Which 型のめあて

### 学習者が選択・判断する場面を設定する学習課題

「Aか？Bか？」「1、2、3のうち、どれか？」「1、2、3のうち、どれが一番〇〇〇か？」  
全ての学習者が参加できる。明確に理由をイメージできなくても、どれかを選択・判断するだけなら誰でもできる。主体性を引き出せる。

Which 型のめあてを提示するだけでは不十分。 学びのプロセスを想定しなければならない。

### ①問題意識の醸成

課題設定に向けて、全員の理解をそろえ、「問題意識の醸成」を図る。

### ②「Which 型めあて」の設定

「考えのズレ」から問題意識を引き出した上で、「Which 型のめあて」を設定する。

### ③考えのゆさぶり

多様な考えを整理した上で、「ゆさぶり発問」を投げかけることで、既存の知識・経験を

裏面に続く・・・

関係づけて、新たな着眼としての「読み方」への気付きを促す。

#### ④学習のまとめ（答え・整理・発展）

課題に対する「答えの確認」、「読み方の整理」、「発展課題の提示」をする。

「**確認読み**」→クラス全員が確認できる読み。百人の読者がいても、読み（答え）が一つに決まる。  
「中心人物は誰か？」「心情がわかる情景の文は？」など  
「問いの文はどの文か？」「筆者が一番伝えたい内容は？」

「**解釈読み**」→読者が百人いれば、百通りの読みがある。独自の解釈読。  
「中心人物の心情変化は？」「この作品の主題は？」  
「筆者は、なぜ問いの文を書いたのか？」「筆者は、なぜこの事例の順序で書いたのか？」

「**評価読み**」→誰もが言えるという特徴がある。  
「この話は、面白い／面白くない」「この話は、いい話だ／いい話ではない」  
「筆者の説明が、わかりやすい／わかりにくい」「筆者の説明に、納得できる／納得できない」

※ある二人の学習者が同じ文学教材を読んで、同じように「面白い」と評価したとする。しかし、その理由は異なった。一方の子は「会話文の言い方の面白さ」に注目する。もう一方の学習者は「作品の全体構造の巧みさ」に注目する。すると、論理構造に着目した後者の学習者の方が、論理的に読む力が高いと推測することができる。文章の部分的な内容だけよりも、文章全体の論理に関して「確認」「解釈」できる学習者の方が、読解力が高い傾向にある。「評価読み」は誰でもできる。しかし、質の高い「評価読み」には、「確認読み」や「解釈読み」がベースになっている。

参考文献：「Which型課題」の国語授業 著者 N5国語授業力研究会 2018年10月 東洋館出版社

今回、国語を例にめあてを提案しましたが、国語に限らず、他教科でも使えるものだと思います。参考にしてください。

- ① ○○は、A？ B？
- ② ○○は、A～C（三つ以上）のうちどれ？
- ③ ○○として適切なのは、A？ B？
- ④ ○○はA？ それとも not A？
- ⑤ 一番○○なのは、A～Cのうちどれ？
- ⑥ もしも○○だったら、A～Cのうちどれ？
- ⑦ もしも○○の順位をつけるなら、その順番は？
- ⑧ もしも○○を目盛りに表すなら、いくつになる？
- ⑨ ○○はいる？ いない？
- ⑩ いい文章？ よくない文章？

## 「Which型課題」10のバリエーション

